

住宅防火ワンポイント

危険物は、正しい取り扱いを

当消防本部では、期間中、危険物施設に対する特別査察や消防訓練を実施し、危険物による火災事故の防止を呼びかけます。

危険物安全週間 6月4日～6月10日

私たちの身の回りには、生活必需品としてごく普通に使っているものの中にも、燃えやすいものがたくさんあります。

例えば、灯油・ガソリン・シンナーなどいわゆる「危険物」で、法令で数量によってその取り扱いや保管方法が厳しく規制されているもの。また、整髪料・殺虫剤などのスプレー缶、カセットコンロ用ガスボンベ、マニキュア液、接着剤など危険物以外であっても、取り扱いに注意を要するものなどです。

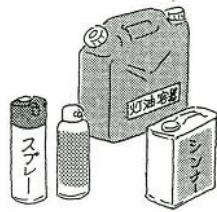
これらの危険物などは、いずれもちよつとした火種で、火災

や爆発などの事故を引き起こす危険性をもっています。

この機会にみなさんの家庭でも危険物チェックを行い、取り扱いを再認識してください。

取り扱い上の注意

● ストープやコンロなどの火気の近くで使わない。
● たばこを吸いながら使わない。



● カセットコンロには、大きな鍋や鉄板を使わない。

保管上の注意

● 必要以上に買いだめをしない。

● 保管場所は火気を使う場所から遠ざける。また直射日光が当たる場所や高温となる場所を避ける。

● 地震で倒れたり、落ちたりしない場所に保管する。

平成18年度危険物安全週間推進標語 自主点検 欠かさぬあなたに グランプリ

中国人研修会の巻

津市役所で、五月十五日(月)に中国人(山東省)研修生九名(うち女性三名)が、出入国管理及び難民認定法に基づく入国後の支援研修を受けました。研修後、三年間は日本で滞在し、日本語もマスターするとの



水消火器で初期消火訓練をする中国人研修生

ことです。滞在中の期間を安全に生活するため、消火器の使い方や一九番のかけ方、また人工呼吸などの応急手当について学びました。

全員が通訳を介して防火・防災の話や応急手当について、熱心に取り組んでいました。

中学生が消防活動体験

五月十七日と十八日に、久居西中学校二年生の生徒四名(内女性一名)が久居消防署にて、二日間の職場体験を行いました。

消防の仕事や車両の説明、点検に始まり、四十五メートル級はしご車の搭乗、ロープ結索や渡過、空気呼吸器の装着訓練など様々な訓練を体験しました。また、大きな声をあげての号令のかけ方や礼式の訓練では、署員から気合を入れられました。

女子生徒も男子と同じように、重たい空気呼吸器とボンベを背負って、逃げ遅れた人を探す訓練に汗を流していました。消防署の職場体験は、生徒の中でも人気があり、将来はこの中から一人でも多く、消防士を目指してほしいものです。



高いところ、こわ~い?



どこ? どのなの?